南城市

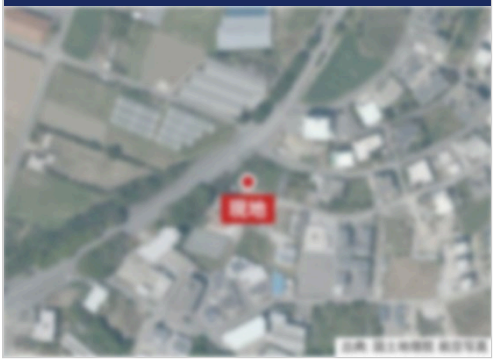
参考レポート

○○△△1-1 土地 詳細分析レポート

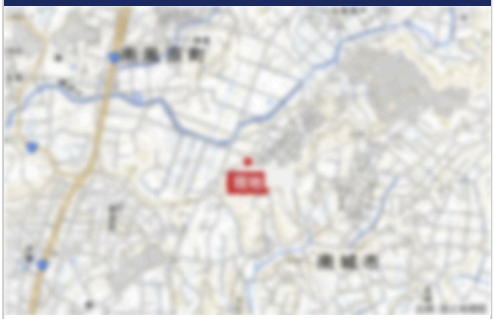
バス停徒歩1分・上下水道あり・分筆相談可の439.0㎡／132.8坪の整形地

総合評価 A⁻（優良）

航空写真



現地案内図



バス停「△△」 徒歩1分

物件概要

所在地	沖縄県南城市○○字△△1番1（登記簿）
価格	2,500万円
土地面積	439.0㎡／132.8坪（登記簿の地積と一致）
坪単価	18.8万円/坪
地目	宅地（登記簿・昭和47年地目変更）
都市計画／用途地域	都市計画区域内（非線引）・用途地域の指定なし
建ぺい率／容積率	60%／200%
取引態様／引渡し	仲介／相談・建築条件なし・分筆相談可

災害リスク評価（公的資料に基づく）

※評価: A（安全）～ E（要注意）

項目	内容（出典）	評価	解説
洪水	【重ねるハザードマップ】想定最大規模 区域外	A	想定最大規模の洪水でも浸水区域の外側で、浸水リスクは低い
津波	【重ねるハザードマップ】区域外	A	海岸から離れた内陸の丘陵地で、津波浸水想定区域には含まれていない
高潮	【重ねるハザードマップ】区域外	A	高潮浸水想定区域の外側で、台風時の海水流入の心配は小さい
土砂災害	【重ねるハザードマップ】警戒区域外	A	土石流・急傾斜地・地すべりのいずれの警戒区域にも該当しない
地震	【J-SHIS 2020年版】30年以内 震度6弱以上 18.8%	C	30年以内に震度6弱以上が起きる確率は18.8%。那覇中心部（20.8%）と同水準
液状化	【J-SHIS 表層地盤】微地形区分: 丘陵	A	丘陵地で地盤が締まっており（AVS30 387m/s）、液状化の危険性は低い

災害リスク総合評価 A　浸水・土砂の区域外の丘陵地。地震は県内主要都市と同水準

30年内の震度別確率	震度5強以上 45.0%／震度6弱以上 18.8%／震度6強以上 3.8%
地点間比較（震度6弱以上）	本物件 18.8%／那覇市中心部 20.8%／沖縄市中心部 21.2%
表層地盤	丘陵・AVS30 387.1m/s・最大速度増幅率 1.03（那覇中心部 1.12）

震度6弱以上の30年確率は那覇・沖縄市の中心部よりわずかに低く、丘陵の締まった地盤で揺れの増幅率も小さい。浸水系と土砂の想定区域はいずれも外れており、災害面の弱点は地震のみで、これは沖縄本島全域に共通する条件である。

- ✓ 建物は耐震等級2以上を目安に計画し、地震保険は火災保険とセットで検討する
- ✓ 南城市の指定避難所と避難経路を市ハザードマップで確認する
- ✓ 造成履歴（切土・盛土）は市または売主に確認し、必要なら地盤調査を実施する

（出典: J-SHIS 2020年版／表層地盤データ、重ねるハザードマップ）

都市計画・法令情報

都市計画区域	南城市 都市計画区域内（非線引）
用途地域	指定なし（白地地域）
建ぺい率／容積率	60%／200%
防火・準防火地域	要確認
地目	宅地（登記簿）
設備	上水道・下水道（掲載情報）

用途地域図



建築・購入時の注意点 B

接道の確認
掲載情報に接道の方角・幅員・道路種別の記載がない。建築基準法上の道路に2m以上接しているか、セットバックの要否を市に確認する

建築条件の表記差
うちなーらいふは「建築条件なし」、グーホームは項目欄が「有」で本文は「なし」。契約前に売主側へ書面で確認する

用途地域の指定なし
非線引の白地地域で建ぺい率60%・容積率200%。用途制限が緩い反面、周辺に工場等が建つ可能性も念頭に置く

分筆の活用
分筆相談可。2区画に分ければ周辺の約198.3～297.5㎡／60～90坪帯の需要に合い、売却や共有名義での活用の選択肢が広がる

利便性・住環境 B

コンビニ: □□店	徒歩4分／車1分（約0.3km）
スーパー: 大型スーパー□□	徒歩18分／車4分（約1.4km）
スーパー: 大型スーパー◇◇	車10分（約3.8km）
小学校: □□小学校（学区）	徒歩22分／車5分（約1.8km）
中学校: □□中学校（学区）	徒歩24分／車5分（約1.9km）
高校: ◇◇高校	車12分（約4.7km）
役場: 南城市役所（佐敷）	車10分（約3.8km）
バス停: △△	徒歩1分（約0.1km）

バス停徒歩1分・コンビニ徒歩圏で、買い物と学校は車5分以内に収まる沖縄では標準以上の生活環境

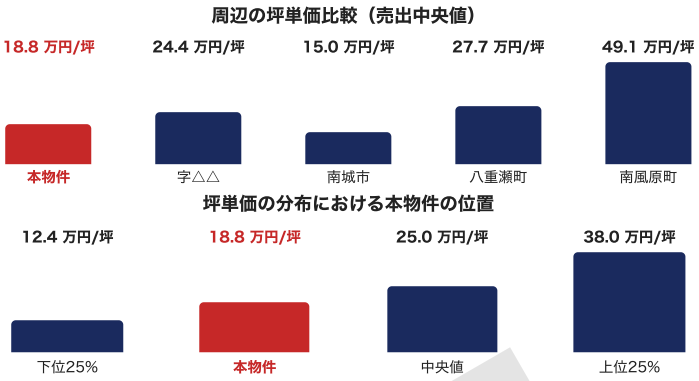
※本評価は公的資料・周辺事例等に基づくもので、将来の状況を保証するものではありません。当資料はAIを元に作成しているためご自身で行政や専門家への確認を行って頂くことをお勧めいたします。

本レポートはサンプル（参考）です。数値はダミーを含み、実際の評価結果ではありません。

¥ 価格分析

本物件の坪単価（価格÷坪数）	18.8万円/坪
同じ字△△の真ん中の値（27件）	24.4万円/坪
周辺の真ん中の値（半径4km・679件）	25.0万円/坪
周辺の多くが収まる範囲（25%〜75%）	12.4〜38.0万円/坪
南城市全体の真ん中の値（116件）	15.0万円/坪
南城市の掲載終了宅地の坪単価（直近3か月以内・126件）	24.1万円/坪

①周辺679件のうち本物件は中位のやや下に位置し、同じ字△△の真ん中の値より約23%、半径4kmの真ん中の値より約25%低い。②439.0㎡／132.8坪と区画が大きいほど坪単価は下がる傾向があり、周辺で坪24〜28万円が付くのは約198.3〜297.5㎡／60〜90坪の小区画である点が価格差の主因で、用途地域の指定がない白地であることも織り込まれている。③分筆して2区画にできれば坪単価の底上げが見込め、現状の2,500万円は割安と判断できる。値引き交渉の目安は掲載期間が2年を超えている点を材料に2,300万円前後。



市場動向・流動性

周辺売出事例数（半径4km）	679件
字△△の売出事例数	27件
南城市の売買土地 掲載終了（直近3か月以内）	300件以上（うち○○地区77件・字△△14件）
本物件の掲載開始	2024年7月（掲載2年超）
周辺の賃貸掲載（半径2km）	96件（2LDK 41件が最多）

字△△だけで27件の売出があり、直近3か月以内に14件が掲載終了しているため、取引は活発なエリアである。ただし本物件は2024年7月の掲載開始から2年超売れ残っており、区画の大きさが買い手を絞っている。分筆前提の購入か、賃貸用地として一括で使う買い手に向く。

周辺売出事例一覧（近い順）

エリア	物件名	面積(㎡／坪)	価格(万円)	坪単価(万円)	地目	本物件からの距離(km)
★本物件	**本物件**	**439.0／132.8**	**2500**	**18.8**	**宅地**	**-**
南城市○○町△△	物件A	641.0／193.9	580	3.0	畑	0.11
南城市○○町△△	物件B	208.3／63.0	1640	26.0	宅地	0.12
南城市○○町△△	物件C	291.2／88.1	2150	24.4	宅地	0.2
南城市○○町△△	物件D	4450.9／1346.4	20200	15.0	畑	0.35
南城市○○町△△	物件E	318.3／96.3	3470	36.0	畑	0.35
南城市○○町△△	物件F	150.1／45.4	2180	48.0	畑	0.35
南城市○○町△△	物件G	136.9／41.4	1490	36.0	畑	0.35
南城市○○町△△	物件H	159.3／48.2	1740	36.1	畑	0.35
南城市○○町△△	物件I	452.2／136.8	1690	12.4	宅地	0.44
南城市○○町△△	物件J	866.1／262.0	5300	20.2	畑	0.46
南城市○○町△△	物件K	144.8／43.8	1790	40.8	宅地	0.51
南城市○○町△△	物件L	199.0／60.2	1670	27.7	宅地	0.58
南城市○○町△△	物件M	224.1／67.8	1880	27.7	宅地	0.59

（出典: うちなーらいふ・グーホーム掲載情報 2026年9月時点）

過去売却済み実績一覧（南城市の売買土地・直近3か月以内・新しい順）

掲載終了日	エリア	物件名	面積(㎡／坪)	価格(万円)	坪単価(万円)	地目
2026-09-09	南城市○○町△△	物件A	2520.7／762.5	15250	20.0	宅地
2026-09-08	南城市○○町△△	物件B	301.5／91.2	2990	32.8	宅地
2026-09-08	南城市○○町△△	物件C	139.5／42.2	1500	35.5	宅地
2026-09-08	南城市○○町△△	物件D	568.6／172.0	2280	13.3	宅地
2026-09-08	南城市○○町△△	物件E	644.0／194.8	2142	11.0	雑種地
2026-09-08	南城市○○町△△	物件F	417.9／126.4	1300	10.3	原野
2026-09-08	南城市○○町△△	物件G	2501.2／756.6	7565	10.0	山林
2026-09-08	南城市○○町△△	物件H	1852.9／560.5	5600	10.0	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件I	736.9／222.9	1783	8.0	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件J	2151.1／650.7	4550	7.0	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件K	812.9／245.9	1475	6.0	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件L	1918.0／580.2	3200	5.5	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件M	1456.9／440.7	2200	5.0	畑
2026-09-08	南城市○○町△△	物件N	495.9／150.0	150	1.0	畑

（出典: うちなーらいふ・グーホーム掲載情報 2026年9月時点。掲載終了には成約のほか取り下げ等を含む場合があります）

※本評価は公的資料・周辺事例等に基づくもので、将来の状況を保証するものではありません。当資料はAIを元に作成しているためご自身で行政や専門家への確認を行って頂くことをお勧めいたします。

本レポートはサンプル（参考）です。数値はダミーを含み、実際の評価結果ではありません。

周辺家賃一覧（掲載中・間取り順／同じ間取りは家賃の安い順）

エリア	物件名	間取り	面積(㎡／坪)	賃料(万円)	築年	本物件からの距離(km)
南城市○○町△△	物件A	1R	26.1／7.9	5.0	2017年	0.36
南城市○○町△△	物件B	1K	23.5／7.1	5.6	2015年	0.35
南城市○○町△△	物件C	1K	23.5／7.1	6.1	2015年	0.16
八重瀬町○○町△△	物件D	1LDK	30.8／9.3	5.5	2013年	0.96
南城市○○町△△	物件E	1LDK	36.1／10.9	5.8	2024年	0.05
南城市○○町△△	物件F	1LDK	35.0／10.6	6.1	2022年	0.97
八重瀬町○○町△△	物件G	1LDK	42.2／12.8	6.8	2011年	0.75
南城市○○町△△	物件H	2LDK	49.4／14.9	6.0	2016年	0.07
南城市○○町△△	物件I	2LDK	52.2／15.8	6.3	2017年	0.36
南城市○○町△△	物件J	2LDK	50.3／15.2	6.7	2016年	0.84
南城市○○町△△	物件K	2LDK	56.7／17.1	8.1	2023年	1.25
南城市○○町△△	物件L	2LDK	60.6／18.3	8.3	2024年	1.24

（出典: うちなーらいふ・グーホーム賃貸掲載情報 2026年9月時点）

成約済み家賃実績（掲載終了・新しい順）

掲載終了日	エリア	物件名	間取り	面積(㎡／坪)	賃料(万円)	築年	本物件からの距離(km)
2026-09-08	南城市○○町△△	物件A	3LDK	—	9.0	築4年	0.27
2026-09-08	南城市○○町△△	物件B	2LDK	60.6／18.3	8.3	築2年	1.13
2026-09-08	南城市○○町△△	物件C	2LDK	56.7／17.1	8.1	築3年	1.13
2026-09-08	南城市○○町△△	物件D	2LDK	56.7／17.1	8.1	築3年	1.13
2026-09-08	南城市○○町△△	物件E	2LDK	50.6／15.3	7.6	築11年	3.07
2026-09-08	南城市○○町△△	物件F	2LDK	—	6.9	築12年	4.06
2026-09-08	南城市○○町△△	物件G	2LDK	50.6／15.3	6.3	築12年	4.19
2026-09-08	南城市○○町△△	物件H	4LDK	115.9／35.1	22.8	築7年	1.13
2026-09-08	南城市○○町△△	物件I	3LDK	84.2／25.5	16.5	築27年	3.26

（出典: うちなーらいふ・グーホーム賃貸掲載情報 2026年9月時点。掲載終了には成約のほか取り下げ等を含む場合があります。距離は住所（字レベルの場合あり）から算出した概算です）

⚠ 建築ボリュームチェック（詳細試算）

面積帯は南城市の募集中賃貸（うちなーらいふ・グーホーム 148件）の下位10%平均／中央値／上位10%平均から算出。大きい帯（105.5㎡／31.9坪）の掲載は戸建が中心のため、賃料は共同住宅3LDKの上位25%水準（10万円）に置き換えて試算した。机上の試算で建築可能戸数を保証するものではなく、斜線・日影等で戸数や床面積が減る可能性があり、設計者による本検討が必要です。

敷地面積	439.0㎡／132.8坪
建築面積の上限（建ぺい率60%）	約263.4㎡／約79.7坪
延床面積の上限（容積率200%）	約878.0㎡／約265.6坪（想定4階建て）
有効面積（レンタブル比85%）	約746.3㎡／約225.8坪
駐車場の理論上限（1台約25㎡／約7.6坪）	約7台

パターン1: 小さめ（約21㎡／約6.4坪）（駐車場2戸に1台）

理論上限	35戸、延床約864.7㎡／約261.6坪
現実プラン（厳しめ～緩め）	14戸～22戸（駐車場7台～11台）

おすすめ理由: 周辺の1K・1Rは4戸すべて築浅で埋まりやすく、表面利回りが4パターン中最高。駐車場2戸に1台で入居が埋まるかは要確認

パターン2: 中ぐらい（約50.5㎡／約15.3坪）

理論上限	14戸、延床約831.8㎡／約251.6坪
現実プラン（厳しめ～緩め）	7戸～11戸（駐車場7台～11台）

おすすめ理由: 周辺家賃で最も件数が多い2LDK帯（41件・中央値8.1万円）に合致し、築浅なら8万円台の実績がある

パターン3: 小さめ（約21㎡／約6.4坪）＋大きい（約105.5㎡／約31.9坪）

理論上限	27戸（小さめ 25戸＋大きい 2戸）、延床約865.9㎡／約261.9坪
現実プラン（厳しめ～緩め）	7戸～12戸（駐車場7台～12台）
現実プランの内訳	厳しめ: 小さめ 2戸＋大きい 5戸／緩め: 小さめ 10戸＋大きい 2戸

おすすめ理由: 単身向けの戸数を確保しつつ、ファミリー向け大型を混ぜて入居者層を分散できる

パターン4: 中ぐらい（約50.5㎡／約15.3坪）＋大きい（約105.5㎡／約31.9坪）

理論上限	12戸（中ぐらい 10戸＋大きい 2戸）、延床約842.4㎡／約254.8坪
現実プラン（厳しめ～緩め）	7戸～10戸（駐車場7台～10台）
現実プランの内訳	厳しめ: 中ぐらい 2戸＋大きい 5戸／緩め: 中ぐらい 8戸＋大きい 2戸

おすすめ理由: 2LDKと大型の組合せで戸建賃貸に近い需要（3～4LDK 16～22万円の実績）も取り込める

- ✓ ①小さめ（21㎡／6.4坪）だと約35戸まで可能だが、現実的には7戸～14戸になりそう（駐車場を2戸に1台にすると14戸～22戸）。
- ✓ ②中ぐらい（50.5㎡／15.3坪）だと約14戸まで可能だが、現実的には7戸～11戸になりそう。
- ✓ ③大きい（105.5㎡／31.9坪）だと約7戸まで可能だが、現実的には7戸になりそう。

（現実プランは駐車場を1戸1台・1台約25㎡／約7.6坪として算定。厳しめ＝建ぺい率の上限まで建物を建て、残りの敷地を駐車場にした場合。緩め＝4階建てを前提に建物の敷地を必要な分に抑え、駐車場と床面積の両方が収まる最大戸数（混合プランは各種別2戸以上）。パターン1（想定A）は単身向けを想定し、駐車場を2戸に1台として算定。いずれも机上の試算で、建築可能戸数を保証するものではありません）

※本評価は公的資料・周辺事例等に基づくもので、将来の状況を保証するものではありません。当資料はAIを元に作成しているためご自身で行政や専門家への確認を行って頂くことをお勧めいたします。

本レポートはサンプル（参考）です。数値はダミーを含み、実際の評価結果ではありません。

賃貸相場・収益試算（詳細試算）

建築費はRCだと約坪97万円で試算しています。※注意1 外構費がかかる場合はもう少し建築費はかかります。ただしペット可など家賃を上げられる要素を入れると利回りはもう少し改善する余地があります。単身向けの想定Aは駐車場2戸に1台で14〜22戸、表面約5.0〜5.3%と最も高く、10年後の売却益も見込める。

半径2km 1K 賃料中央値	6.1万円／月（9件）
半径2km 1LDK 賃料中央値	6.8万円／月（15件）
半径2km 2LDK 賃料中央値	8.1万円／月（41件）
半径2km 3LDK 賃料中央値	7.7万円／月（18件）

想定E: 10年後の売却見込み（想定Aを基準）

10年後の満室年収	約608〜955万円（賃料 年1%下落）
周辺の利回り水準（表面）	4.0〜5.0%（周辺の収益物件が少ないため仮定）
売却見込み価格	約12,155〜23,876万円
売却益の目安	約▲1,380〜4,136万円（総事業費との差）

（売却見込み＝10年後の満室年収÷周辺売出物件の表面利回り。売却時の諸費用・税金は含まない）

想定A〜D の試算（想定ごとの表）

想定A: 小さめ 14〜22戸（駐車場2戸に1台）

戸数（厳しめ〜緩め）	14戸〜22戸（駐車場7台〜11台）
満室月収（年収）	約56.0〜88.0万円（年 約672〜1,056万円）
建築費（RC・約坪97万円）	約10,149〜15,948万円（延床345.9〜543.5㎡／104.6〜164.4坪）
総事業費（土地2,500万円＋建築費＋諸費用7%）	約13,534〜19,740万円
表面利回り	約5.0〜5.3%
実質利回りの目安（空室10%・運営費20%）	約3.6〜3.9%

想定B: 中ぐらい 7〜11戸

戸数（厳しめ〜緩め）	7戸〜11戸（駐車場7台〜11台）
満室月収（年収）	約44.1〜69.3万円（年 約529〜832万円）
建築費（RC・約坪97万円）	約12,203〜19,176万円（延床415.9〜653.5㎡／125.8〜197.7坪）
総事業費（土地2,500万円＋建築費＋諸費用7%）	約15,732〜23,193万円
表面利回り	約3.4〜3.6%
実質利回りの目安（空室10%・運営費20%）	約2.4〜2.6%

想定C: 小さめ＋大きい 7〜12戸

戸数（厳しめ〜緩め）	7戸〜12戸（駐車場7台〜12台）
満室月収（年収）	約58.0〜60.0万円（年 約696〜720万円）
建築費（RC・約坪97万円）	約14,533〜19,659万円（延床495.3〜670.0㎡／149.8〜202.7坪）
総事業費（土地2,500万円＋建築費＋諸費用7%）	約18,225〜23,711万円
表面利回り	約2.9〜4.0%
実質利回りの目安（空室10%・運営費20%）	約2.1〜2.8%

想定D: 中ぐらい＋大きい 7〜10戸

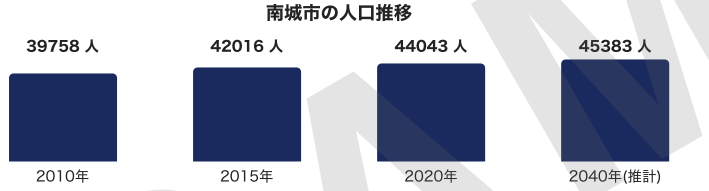
戸数（厳しめ〜緩め）	7戸〜10戸（駐車場7台〜10台）
満室月収（年収）	約62.6〜70.4万円（年 約751〜845万円）
建築費（RC・約坪97万円）	約21,230〜21,696万円（延床723.5〜739.4㎡／218.9〜223.7坪）
総事業費（土地2,500万円＋建築費＋諸費用7%）	約25,391〜25,890万円
表面利回り	約2.9〜3.3%
実質利回りの目安（空室10%・運営費20%）	約2.1〜2.4%

（賃料出典: うちなーらいふ・グーホーム賃貸掲載データ 2026年9月時点。金利・修繕費等は未考慮で、事業化には資金計画の本検討が必要）

※注意1：建築費の坪単価は建築業者などによって異なりますのでご自身でご依頼先の建築会社様に見積りをご依頼下さい。

エリア分析・将来資産性 B

南城市は2006年の4町村合併以来、人口が一貫して増え、国勢調査では2010年から2020年の10年で約4,300人（10.8%）増加した。国の推計でも2040年前後まで微増が続き、沖縄県内で人口減少に転じにくい自治体の一つである。○○地区は大型商業施設の開業（2018年）以降、地区内で築浅賃貸の供給が続き、那覇・南風原方面への通勤層の受け皿になっている。一方、鉄道はなく車が生活の前提で、資産価値は幹線道路へのアクセスと区画の使いやすさで決まる。本物件はバス停徒歩1分で、分筆すれば小区画需要にも対応できる点が資産性を支える。



（出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口）

- ✓ プラス: 人口増加の継続、築浅賃貸の供給と入居実績、半径4kmの売出679件という流動性
- ✓ マイナス: 用途地域の指定がなく将来の周辺環境が読みにくい、車がないと生活が成り立たない立地
- ✓ 字△△の売出27件のうち本物件より大きい区画は3件のみで、一括の買い手は限られる

活用提案

提案1: 分筆して自宅＋売却

約219.5㎡／約66.4坪ずつに分筆し、片方に自宅を建て、もう片方を周辺相場（坪24〜28万円）で売却すれば1,600〜1,800万円の回収が見込め、実質的な土地取得費を大きく圧縮できる

提案2: 2LDK（中ぐらい）7〜11戸の賃貸アパート

周辺で最も需要の厚い2LDK帯で計画。想定Bの表面利回り約3.4〜3.6%は単独では低いため、駐車場を近隣借地で補い戸数を増やせるか、自己資金比率を高める前提で検討する

提案3: 戸建賃貸2棟

○○地区では3〜4LDKの戸建賃貸に16〜22万円の実績がある。2棟なら駐車場も確保しやすく、建築費を抑えつつ月収30万円台を狙える

購入前チェックリスト

- ☐ 接道する道路の種別・幅員と建築基準法42条該当の確認（市建築指導担当）
- ☐ セットバックの要否と有効宅地面積の確認
- ☐ 建築条件の有無を売主・仲介会社に書面で確認（2サイトで表記が異なる）
- ☐ 分筆後の各区画が接道条件を満たすかの確認
- ☐ 上水道・下水道の引込位置と口径、負担金の有無の確認
- ☐ 防火・準防火地域の指定有無と用途地域指定なしの区域での建築制限の確認
- ☐ 造成履歴と地盤調査（SWS試験等）の実施
- ☐ 登記簿の所有者（昭和62年贈与で取得）と現売主の一致、境界確定の有無の確認

総合所見

買い手像は、分筆を前提に自宅用地と売却または賃貸用地を組み合わせたい実需層、あるいは戸建賃貸2棟を計画する小規模投資家である。価格交渉の材料は、掲載開始から2年超が経過していること、周辺で坪24〜28万円が付くのは約198.3〜297.5㎡／60〜90坪の小区画であり一括では買い手が限られることの2点で、2,300万円前後が目安になる。リスクの優先順位は、第一に接道条件（記載がなく再建築や分筆の可否を左右する）、第二に建築条件の表記差、第三に用途地域未指定による周辺環境の変化で、災害面の懸念は小さい。接道が建築基準法上の道路で幅員4m以上と確認でき、建築条件なしが書面で担保されれば、価格面・立地面ともに購入を勧められる物件である。

総合評価
A−
★★★★½
（優良）

総合評価サマリー	災害リスク	価格妥当性	将来資産性	利便性	建築しやすさ	利回り
	A 浸水・土砂区域外の丘陵地	A 字中央値より約23%割安	B 人口増加の南城市	B バス停1分・買い物車4分	B 接道は要確認	B 4案中最高 想定A・表面約5.0〜5.3%（平均5.16%）

※利回り＝4案それぞれの表面利回りレンジの平均（下限＋上限）÷2 の最高値で判定（A: 6%以上／B: 5%〜／C: 4%〜／D: 3%〜／E: 3%未満）。総合評価＝6項目の加重平均（利回り20%・他16%、A=5〜E=1点）で、4.75以上A＋／4.25以上A−／3.75以上B＋／3.25以上B−／2.75以上C＋／2.25以上C−／1.5以上D（本物件 4.32点）

※本評価は公的資料・周辺事例等に基づくもので、将来の状況を保証するものではありません。当資料はAIを元に作成しているためご自身で行政や専門家への確認を行って頂くことをお勧めいたします。

本レポートはサンプル（参考）です。数値はダミーを含み、実際の評価結果ではありません。

登記簿（表題部）南城市○○字△△1番1

[redacted]

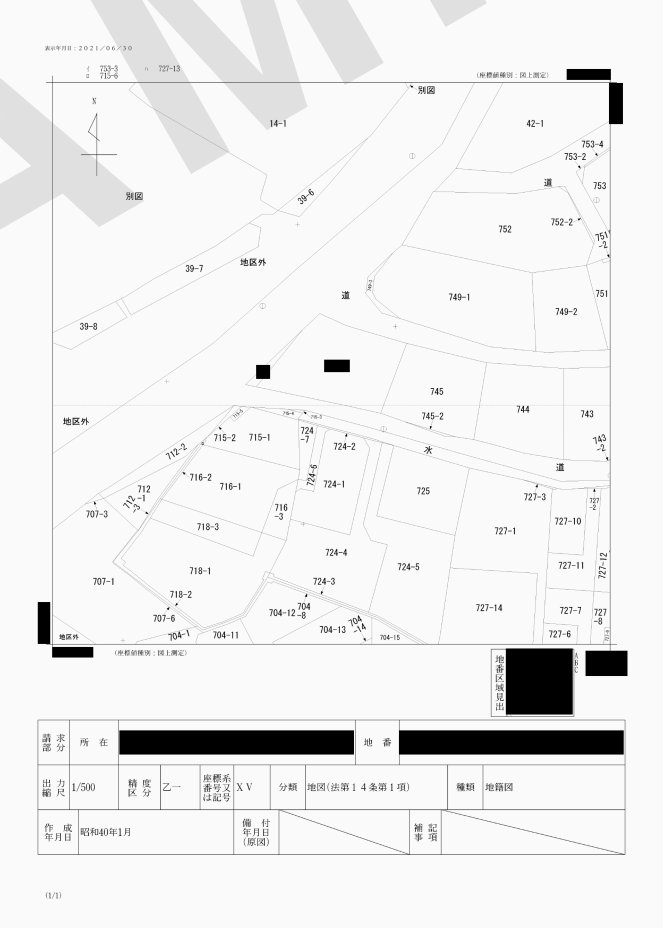
２０２１／０６／３０　１１：３３　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）		調製	平成１５年８月１１日	不動産番号	[redacted]
地図番号	[redacted]	筆界特定	余白		
所　在	[redacted]			余白	
	[redacted]			平成１８年１月１日行政区画変更 平成１８年６月１日登記	
①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕	
[redacted]	畑	⑩	９０：	余白	
余白	余白		４５８：	[redacted]	
[redacted]	余白		４３９：	昭和４７年４月１５日一部地目変更 [redacted] 〔昭和４８年３月１７日〕	
余白	宅地	余白	：	②昭和４７年２月１日変更 〔昭和４８年７月１８日〕	
余白	余白		４３９：００	③錯誤 〔平成５年７月１３日〕	
余白	余白	余白	：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１５年８月１１日	

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
1	所有権移転	[redacted]	原因　昭和６２年１０月２０日贈与 所有者 [redacted] 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１５年８月１１日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

公図（地図番号 ○○）



（出典: 登記情報提供サービス 2021年6月30日取得分。公開用サンプルのため、所有者の住所・氏名等は黒塗りしています）

※本評価は公的資料・周辺事例等に基づくもので、将来の状況を保証するものではありません。当資料はAIを元に作成しているためご自身で行政や専門家への確認を行って頂くことをお勧めいたします。

本レポートはサンプル（参考）です。数値はダミーを含み、実際の評価結果ではありません。